

まちの話題

The topic of the town



湾岸フォトコンテスト 力作がそろいました

志布志湾岸地域（串間市、志布志市、大崎町、東串良町、肝付町）の魅力を再認識、発信しようと開催された志布志湾岸フォトコンテスト（The Bay Area Photo Contest）の前期審査会が10月5日開催され、入賞作品10点が決まりました。応募作品は志布志湾岸地域の風景を撮影したものの、力作ぞろいの作品を前に審査委員たちは真剣な表情で審査していました。なお、後期作品受け付けは来月3月末まで。入賞者のうち宮崎県関係者は次の通りです（敬称略）。【写真王部門】串間賞Ⅱ日高廣志（串間市）△東串良賞Ⅱ山口英明（都城市）



大勢での授業は面白い 小中連携の合同学習会

10月6日、北方小学校と秋山小学校の5・6年生児童が北方中学校を訪れ、小中連携集合学習会を行いました。小中の交流を深めるとともに、中学校進学時に授業などになじみのある「中1ギャップ」の予防が目的。また中学校で学習することで中学校の先生が授業に入りやすく、児童たちが多くの教科を学習できるという利点もあります。秋山小学校ただ一人の5年生近藤雄太くんは「今日を楽しみにしていました。大勢で勉強するのは楽しい」と話していました。この集合学習会は今後も継続し、教科も増やしていく予定です。



九州自動車道整備へ 団結してガンバリ

10月6日、東九州自動車道建設促進日南・串間地区総決起大会が串間市文化会館で開催されました。第1部の講演では渡辺学県高速道路対策局長が、高速道路ネットワークの必要性を強調。決起集会では串間・日南・志布志市民各1人が「地方は道路整備が遅れていることで不利益を被っている。枠を超えて手を取り合い頑張りましょう」などとそれぞれ訴えました。最後に「清武（日南間）の早期完成、「日南（串間）志布志間」の整備計画早期策定など5項目の大会決議を採択し、団結ガンバリ三唱で大会を締めくくりました。



結婚50年の節目「金婚」 おめでとございす

結婚50年の節目を祝う金婚記念祝賀会が10月13日、串間市文化会館で開催されました。今年市内で金婚を迎えられたのは105組。祝賀会にはそのうち62組が出席しました。

会では「これからも健康に留意され、市の発展にお力添えをいただきたい」と野辺市長があいさつ。出席者を代表し福島地区の若松雄朗さん、良子さん夫妻が表彰状を受け取りました。同じく福島地区の久長達朗さん、美智子さん夫妻が「夫婦一心同体で困難を乗り越えてきた。さらに健康に留意して市政発展のために尽くしたい」と謝辞を述べられました。



地域の安全安心目指し 防犯パトロールを実施

地域の安全は助け合いにより自分たちの手で守ろうと、10月12日、大東地区の上新町・中新町・下新町自治会が3自治会合同で防犯パトロールを実施しました。この3自治会は平成21年4月1日から3年間、串間市の「地域の安全・安心活動推進モデル地区」の指定を受けており、防犯のほりを立てたり、商店前でチラシを配布したりと、地域の皆さんが防犯活動に積極的に取り組んでいます。この日は3班に分かれ地域内の高齢者宅を訪問。戸締りや鍵かけをお願いするとともにチラシなどを配布し防犯を呼びかけました。



もしもの時に備えて 津波防災訓練を実施

地震・津波災害の発生に備えようと10月17日、都井地区・立字津（井手宜富自治会長・61戸）で大規模津波防災総合訓練がありました。

訓練は和歌山県南方沖でM8.6の地震が発生、「大津波」の津波警報が出たという想定。避難が指示されると、住民たちは地元消防団員などの誘導により速やかに高台に避難を完了。その後消火栓や消火器、AEDを使った訓練なども行いました。井手自治会長は「若い人が漁に出て、高齢者だけが家に残っていることが多く、今回の訓練をもしもの時に生かしたい」と話していました。



五穀豊穡無病息災願う 古式十五夜柱松「火祭」

10月17日、市木地区・八ヶ谷の岩折神社前で、五穀豊穡と無病息災を願う古式十五夜柱松「火祭」が行われました。まずは「子供柱松」。市木小の児童が高学年と低学年に分かれ、それぞれ8mと6mの柱松を自分たちの手で建立。柱松の先にあるカゴをめぐり、ゴムボールで作った手松を投げ込むと約5分で命中しました。

クライマックスの柱松では、高さ約18mの柱松の先にある的をめがけ「ヨイトナ、トントナ」の掛け声とともに手松が次々と投げられました。夜空に描かれる幻想的な光景に訪れた人たちは魅了されていました。

